

# 2022年度 第2四半期決算説明資料

2022年度第2四半期決算概要及び2022年度通期見通し

2022年11月30日  
シンフォニアテクノロジー株式会社  
(証券コード6507)

# 2022年度上期決算概要

# 2022年度上期連結決算

(単位：億円)

	21年度 上期実績	22年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	513.3	686.0	172.7	33.6%
売上高	399.9	490.5	90.6	22.7%
営業利益	16.1	37.1	21.0	129.7%
経常利益	16.7	43.6	26.9	160.7%
当期利益(※)	11.1	30.5	19.4	174.8%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

- ◆半導体製造装置を中心とした生産設備への投資が堅調に推移、受注高、売上高とも増加。
- ◆損益面は、売上の増加や為替影響により増益。

# セグメント別業績総括(モーション機器)

(単位：億円)

	21年度 上期実績	22年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	176.0	199.9	23.9	13.6%
売上高	142.1	172.8	30.7	21.5%
営業利益	4.2	6.6	2.4	58.2%

- ◆半導体製造装置用機器や繊維機械向けのアクチュエータ、産業機械向けクラッチブレーキが好調だったことから、受注高・売上高ともに前年度を上回った。
- ◆営業利益については、増収により、前年度を上回った。

# セグメント別業績総括(パワーエレクトロニクス機器)

(単位：億円)

	21年度 上期実績	22年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	237.4	366.3	128.9	54.3%
売上高	179.6	241.5	61.9	34.4%
営業利益	7.7	33.1	25.4	328.0%

- ◆半導体産業における旺盛な投資によるクリーン搬送システム、大口案件を獲得した社会インフラ等の増加により、受注高は前年度を上回った。
- ◆受注が増加したクリーン搬送システムでの増加により、売上高は前年度を上回った。
- ◆営業利益は、売上の増加に加え、為替影響により、前年度を上回った。

# セグメント別業績総括(サポート&エンジニアリング)

(単位：億円)

	21年度 上期実績	22年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	99.9	119.7	19.8	19.9%
売上高	78.2	76.3	▲1.9	▲2.4%
営業利益	4.5	▲1.9	▲6.4	—

- ◆受注高は、半導体製造工場向け搬送設備工事等の増加により、前年度を上回った。
- ◆売上高は、病院向け設備工事の減少等により、前年度を下回った。
- ◆営業利益については、工事案件の採算性低下等により、前年度を下回った。

# 2022年度通期見通し

# 2022年度連結通期見通し

(単位：億円)

	21年度 実績	22年度 予想	対前年比		(参考)対前回予想比	
			増減額	増減率	当初予想	増減率
受注高	1,104.7	1,250	145.3	13.2%	1,100	13.6%
売上高	945.9	1,050	104.1	11.0%	1,000	5.0%
営業利益	75.1	95	19.9	26.4%	80	18.8%
経常利益	79.0	100	21.0	26.6%	80	25.0%
当期利益 (※)	55.9	67	11.1	19.8%	56	19.6%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

- ◆受注高は、パワーエレクトロニクス機器の増加により前年度を上回るも、下期は調整局面入りすると予想。
- ◆売上高は、受注残高が増加していることから、前年度を上回る見通し。
- ◆損益は、増収により、前年度を上回る見通し。

# セグメント別業績見通し(モーション機器)

(単位：億円)

	21年度 実績	22年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	371.9	397	25.1	6.7%
売上高	320.9	372	51.1	15.9%
営業利益	13.8	16	2.2	15.9%

- ◆受注高は、半導体製造装置用機器、繊維機械向けアクチュエータ、及び産業機械向けクラッチブレーキの増加により、前年度を上回る予想。
- ◆受注増により、売上高、営業利益ともに、前年度を上回る予想。

# セグメント別業績見通し(パワーエレクトロニクス機器)

(単位：億円)

	21年度 実績	22年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	545.9	643	97.1	17.8%
売上高	445.9	503	57.1	12.8%
営業利益	44.9	65	20.1	44.8%

- ◆受注高は、半導体の需要は下期から調整局面入りするものの、社会インフラの大口案件獲得が寄与し、前年度を上回る予想。
- ◆受注残高増により、売上高、営業利益は、前年度を上回る予想。

# セグメント別業績見通し(サポート&エンジニアリング)

(単位：億円)

	21年度 実績	22年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	186.9	210	23.1	12.4%
売上高	179.0	175	▲4.0	▲2.2%
営業利益	17.5	15	▲2.5	▲14.3%

- ◆受注高は、半導体製造工場向け搬送設備工事等の増加により、前年度を上回る予想。
- ◆売上高は、病院向け設備工事等の減少により、前年度を下回る予想。
- ◆営業利益は、売上減により、前年度を下回る予想。

# 中期経営計画の進捗

SINFONIA  
**NEW  
STAGE**  
2024

## 中期経営計画基本方針

### 技術開発力の強化と新製品の開発・新事業の育成

- ✓半導体関連分野に注力して成長ドライバーとする
- ✓物流・再生医療・脱炭素に関連する新製品の開発を行う

技術開発力強化

生産力の強化／グローバル事業拡大

脱炭素・環境負荷低減への取組

新たなステージでの安定した企業成長と、  
社会のサステナブルな発展への貢献を目指します

# 中期経営計画の進捗

## 中期経営計画基本方針



# 中期経営計画の進捗

## 中期経営計画の数値目標



新たなステージでの安定した企業成長と、社会のサステナブルな発展への貢献を目指します

# 中期経営計画の進捗

## 半導体分野での取組



# 中期経営計画の進捗

## 半導体分野での取組

### 半導体製造装置向け製品増産 生産エリア拡張及び工場建設

#### 豊橋製作所



✓ EFEM等 月産従来比 2.4倍

✓ 床面積 現状比 1.8倍



#### シンフォニアテクノロジータイ

✓ LP 月産従来比 1.8倍

#### 伊勢製作所

✓ LP 月産従来比 1.5倍



# 中期経営計画の進捗

## 医療分野での取組



### 再生医療

神戸医療産業都市推進機構  
細胞療法研究開発センター



### 病院内搬送



### モータ・ドライブ



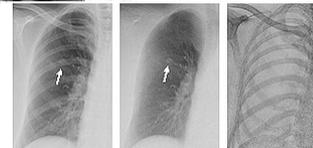
### 医療システム

### システム制御

### パワーエレクトロニクス



### 医療用映像機器



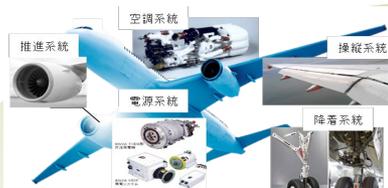
# 中期経営計画の進捗（動画）

CellQualia™



# 中期経営計画の進捗

## 脱炭素・環境負荷低減への取組



電動化関連製品



## 温室効果ガス排出量削減に貢献

企業環境ステートメント

**ECOing**<sup>TM</sup>

エコで行こう! エコへ移行!



CO2削減目標

2030年度  
**30% 減**  
(2018年基準)

# 配当について

## 配当について

- 配当については継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、株主の皆様のご利益と、企業体質の強化、及び今後の事業展開のための設備投資・開発投資に備え、先行きの収益状況を勘案して利益配分を決定。
- 2023年3月期の期末配当については、2022年3月期から10円増額となる、1株当たり60円とする予定。

(単位:円)

	20年 3月期	21年 3月期	22年 3月期	23年 3月期(予)
1株当 配当金	30	35	50	60

ご清聴ありがとうございました